



ひよこ組

【12月の保育のねらい】

- ・探索活動を楽しみながら、身体を十分に動かして遊ぶ。
- ・伝えたい気持ちを受け止めてもらい、満足感や安心感を味わう。

<散歩でたくさんの発見！>

辺りはすっかり秋模様。そんな景色と心地よい気候の中、ひよこ組では薬師公園や路地を散歩しています。「お散歩いこうね」と伝えると、“早く帽子をかぶせて”“ジャンパー着せて”とばかりに目を輝かせるこどもたち。準備が出来たら、階段をゆっくり降りていき箱車に乗って出発です。今の時期、公園にはドングリや色づいた葉がたくさん落ちています。発見すると「あ！」と嬉しそうに拾い、保育者のところへ来て“あったよ！”と知らせてくれています。「ドングリあったね」「葉っぱだね」「見つけて嬉しいね」と、それぞれ見つけた子たちに伝えると笑顔になり、“うんうん、そうなんだ”と気持ちが通じたようで、満足して築山や花壇の周りなどでまた探索を続けます。

こどもたちの行動範囲もどんどん広がり、色々な物に興味をもつようになっていきます。指差しや声を出して、思いを伝えようとする姿を丁寧に受け止め、共感しながらこどもたちとたくさんの発見を楽しんでいきたいと思えます。



ちゅうりっぷ組

【12月の保育のねらい】

- ・絵本や紙芝居の再現遊びやお店屋さんごっこなどを繰り返し楽しむ。
- ・自分の思いや気付いたことを、自分なりの言葉で友だちや保育者に伝える。



りず組

12月号 クラスだより

【12月の保育のねらい】

- ・正しく食具を使って、自分で食べてみようとする。
- ・見立て、つもり遊びを保育者や友だちと楽しむ。

<ぱくぱく、もぐもぐおいしいね。>

「ごはんだよー」と声をかけると、自分の席に座ってエプロンを自分で付けようとし、食べる準備をし始めます。メニューを見て「うわー！おいしそー」「これ何？」と食べる前からワクワクし、“いただきます”をするとすぐにスプーンやフォークを持って、好きなものから食べ始めます。大グループのこどもたちは最近フォークを使うようになり、「フォークこれ？」と、どのメニューをフォークを使って食べるのか保育者と一緒に考えています。「〇〇チクンできるかな？」「上手に持ってるよ。」など声を掛けることを繰り返すうちに、自分で考えてフォークを使ってみようとする姿も見られるようになってきました。小グループのこどもたちは、今はまだフォークを出していませんが、スプーンを使って食べるが増え、少しずつ食べこぼしも減ってきました。まだ手づかみもありますが、「〇〇ちゃん、スプーン使ってるんだね」と声をかけると“はっ！”として、自らスプーンを使い始めたりしています。食べられるメニューが増えてきた今の時期に、食欲が増すような関わりや言葉がけをしつつ、みんなとより楽しく食事出来るようにしていきたいです。



うさぎ組

【12月の保育のねらい】

- ・物語の世界を再現したり、ごっこ遊びを友だちや保育者と一緒に楽しむ
- ・保育者と一緒に丁寧に手洗いや鼻を拭く（または自分でかむ）ことを行い、健康に過ごす。

<楽しい散歩の時間>

秋から小グループも、箱車を使わずに友だちや保育者と手を繋いで散歩に行っています。薬師公園まで繰り返し散歩に行くうちに手を繋いで歩けるようになってきました。「〇〇さんをつなぎたい」「きょうは〇〇くんとはつなぎたくない」など手を繋ぐ相手にこだわる姿も見られるようになってきて出発に時間がかかることも…。「帰りは繋ごうね」「じゃあ3人で繋ぐのはどう？」など思いを受けとめてもらうことで納得して気持ちを切り替えられることも増えてきました。公園に着くまでの道中では「きょうはおみせやっていないね」といつも通る道にあるお店の話をしたり会話をしながら歩いています。散歩先では、拾った木の实でご飯を作ったりかくれんぼごっこや追いかけてっこをして、友だちや保育者と数人で遊ぶことが増えてきました。保育者に追いかけてもらうことだけでなく、保育者と一緒に友だちを追いかけることもするようになってきたので、しっぽとりなどルールのある遊びにも少しずつ触れながら、みんなで楽しめる遊びが増えていくといいなと思っています。



もみじ組

【12月の保育のねらい】

- ・成長を祝う会に向けてひとり一人が役割をもち、友だちと協力しながら活動を進める。
- ・自分たちで考えた事を遊びの中で表現する楽しさを味わう。



<おんがくかいのよる>

9月末頃からクラスで楽しんでいる『おんがくかいのよる』という絵本があります。素敵なお歌のかえるに憧れ、5匹のねずみも音楽会を開くというお話です。この絵本を読んでいると「ぼくたちも音楽会やってみたい」という声があり、実際にねずみたちのように身の回りの物で楽器を作ってみました。「ぼく、家でギター作ったことある」という子を中心に、空き箱に輪ゴムをかけて指で弾くとなんと良い音がし、こどもたちが目を輝かせていました。他にも、空き箱を並べて棒を使ってドラムのように叩いたり、どんぐりを空き箱に入れてゆすってみたり、それぞれいい音がするので歌に合わせて合奏をしました。何度も楽しんでいるうちに、“もみじさんの太鼓のようにやろう”、“お客さんを呼んで見てもらおう”など、どんどんアイデアが出てきます。そんな様子を見て「私はピアノを作りたい」「マラカスもいいね」と楽器作りが広がっていきました。「ねずみたちになりきりたい」とスカートを作ったり、ウレタン積み木でステージを作って、かえるのような素敵なお歌で歌をうたってみたり、『おんがくかいのよる』のイメージを楽しんでいるさくら組です。楽しい活動を成長を祝う会へ繋げていきたいと思っています。

<食事のマナー>

保育園の給食は、こどもたちに自分が食べられる量を聞いて、お皿に食事を盛り付けています。野菜が苦手、お豆やお芋が苦手などそれぞれの好みもあるので、食べられる量を盛り付け、全部食べられた達成感が味わえるようにしています。また、こども自身が自分の食べられる量を知る、配膳の大人に言葉で伝えられるようになるという意味でも一人ひとりのこどもたちの声を聞き、対応しています。他にも…

- ・椅子に座った時の姿勢(体の向きや背筋が曲がっていないか？肘を付いていないか？)
- ・食具の持ち方(お家では正しくスプーン・フォークを持って自分で食事食べていますか？手で食べていませんか？)
- ・食べ方(スプーンには一口量を掬い、詰め込まずに食べる。フォークで切る、自分の歯で噛みちぎる。)
- ・服やテーブルの上、自分の口の周りなどが汚れていないか？

等を伝えています。自我も強い時期なので、始めは“好きなようにやらせて～！”となかなか聞き入れてくれない姿もありましたが、少しずつ興味を持って聞いてくれる姿が出てきました。「〇〇はダメだよね」「ぎょーぎわのいよね」など大人に確認しながら意識して食べる姿が見られ、マナーという名の約束事を受け入れるだけの心の成長が見られて嬉しくなりました。

皆さんのご家庭ではどうですか？食事の環境は各ご家庭によって違うかもしれませんが、食事のマナーは大人としてしっかり伝えていきたいですね。

